

シリーズ
第2回

日本電子株式会社・AMED/BINDS 事業 共催

CRYO ARM講座

開催形式：オンライン(ZOOM)

定員：100名

参加費：無料

「透過型電子顕微鏡の誕生から
クライオ電子顕微鏡の開発まで」

10月24日 月 17:30-18:30

主催：筑波大学 生存ダイナミクス研究センター 岩崎 憲治

開催場所：オンライン

要旨

透過型電子顕微鏡が誕生したのは1930年代初めである。1980年代以降クライオ電子顕微鏡が誕生し、足がけ100年かけてようやく生体分子構造解析のためのスタンダード手法となった。測定手法及び解析手法が高度化しつつも、ユーザーフレンドリで自動化している。しかし、相反するかのように、それらの内側はユーザーに対してブラックボックス化が進んでいる。本講座では、透過型電子顕微鏡の原理やクライオ電子顕微鏡とは何か、なぜ試料を凍結する必要があるのかなど、その原理の解説に焦点を当てて講義する。



講師

九州工業大学大学院
安永 卓生 教授



TARA



申込方法

参加申込フォームからお申込ください【締め切り】10/17(月)17時45分
<https://forms.gle/V8UELtm6D8R2W7eu7>

お問い合わせ

岩崎研究室 谷川 TEL:029-853-6432 (9時半-16時)
tanigawa.satoko.gm@un.tsukuba.ac.jp

